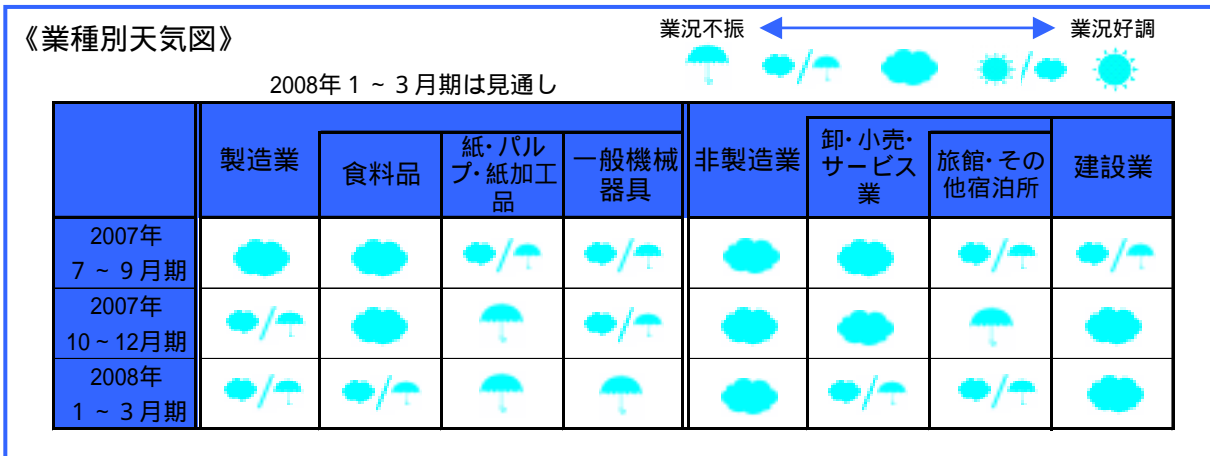
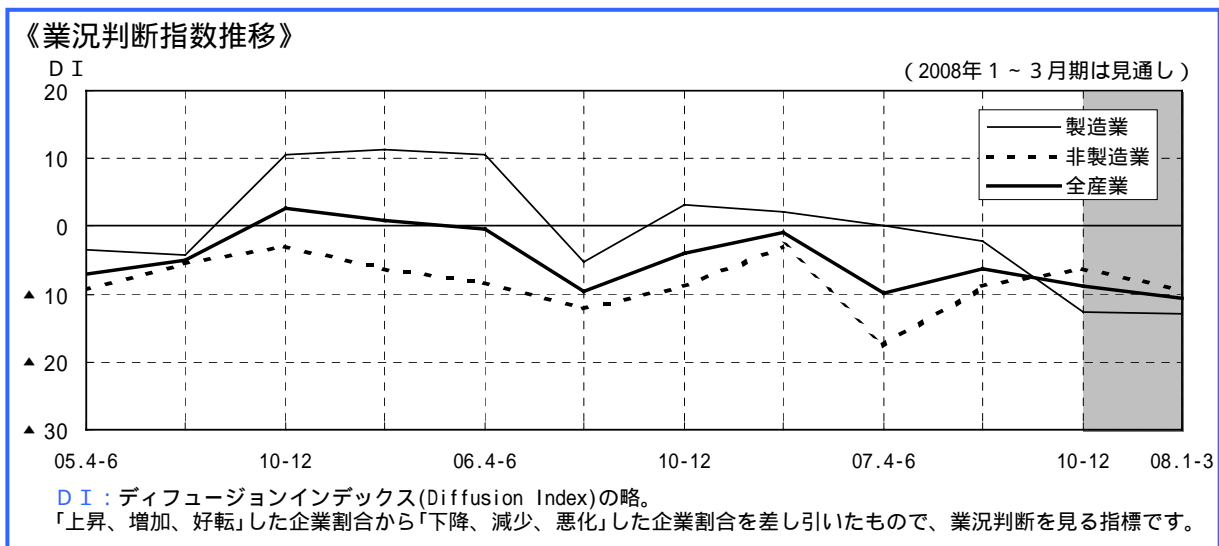


業況概要(自社)

～ 製造業で業況判断D Iが大幅低下、非製造業は上昇～

静岡県東部地域における2007年10～12月期の業況判断D Iは、全産業で▲8.9(前期▲6.3)と、前期より低下した。うち、製造業の業況判断D Iは▲12.8(同▲2.2)と大幅に低下した。引続き、原材料・仕入商品の値上がり等を背景とする経費の増加から、売上・利益環境の悪化が止まらず、業況判断を押し下げているとみられる。一方、非製造業の業況判断D Iは▲6.3(同▲8.8)と2期連続で上昇し、製造業を上回っている。

2008年1～3月期の見通しは、製造業は横ばい、非製造業でも反転低下を見込んでいることから、全体D Iは▲10.7と続落が予想されており、先行きへの見方は厳しい。



《調査の概要》

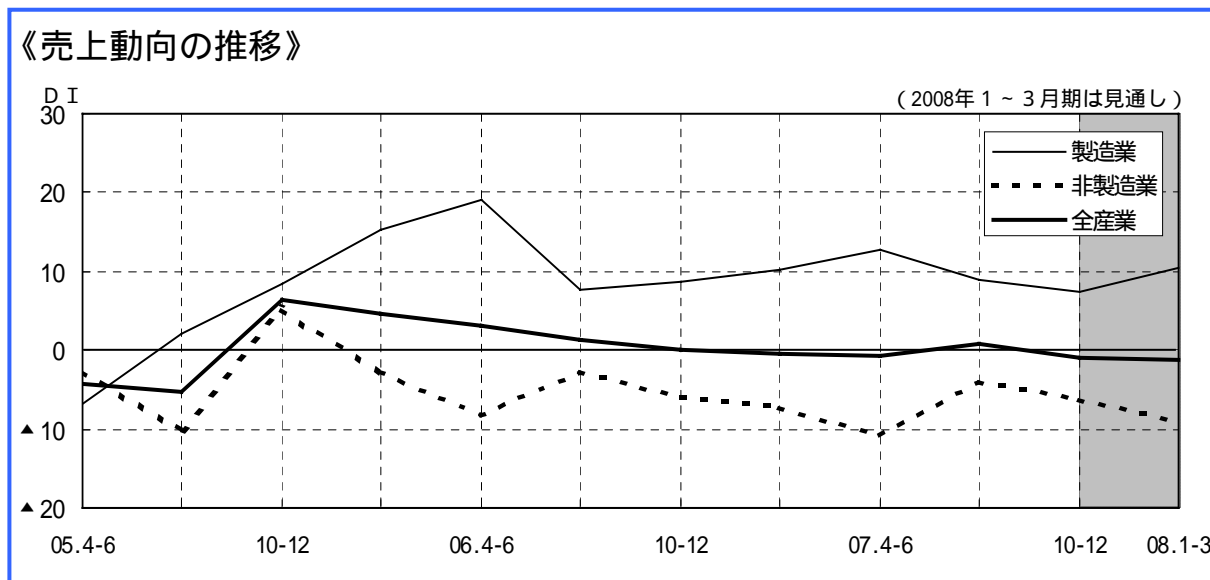
- 調査目的
静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
- 調査対象企業
静岡県東部地域に立地する企業 840社
回答数237(回答率28.2%)
業種別企業数は4ページ下段図表を参照
- 調査方法
当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
- 調査対象期間
実績:2007年10～12月期
見通し:2008年1～3月期
- 調査時点
2007年11月

売上動向

製造業・非製造業ともD Iが低下、全体でも再びマイナス判断に

2007年10～12月期の全産業の売上動向D Iは▲0.8(前期0.8)と低下、再びマイナスとなった。製造業では一般機械器具(▲27.3 0.0)でD Iが大幅に改善したが、パルプ・紙・紙加工品(13.3 0.0)などで低下し、全体D Iは7.4(同8.9)と連続して低下した。一方、非製造業の全体D Iも▲6.4(同▲4.1)と悪化した。その他小売・サービス業等ではD Iが上昇したが、旅館・その他宿泊所ではD Iが大幅に低下している。

2008年1～3月期(見通し)の予想D Iは全産業で▲1.3とわずかに低下を予測している。うち、製造業では反転上昇を予想しているが、非製造業では低下の継続を見込み、判断は分かれている。

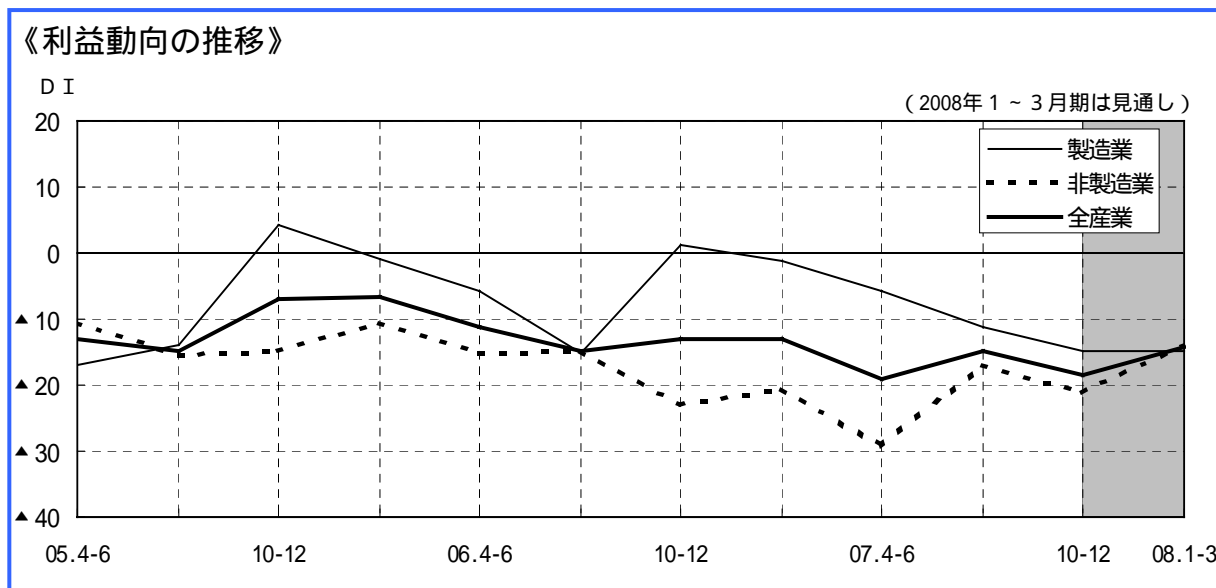


利益動向

製造業はD Iの低下傾向続く、非製造業のD Iも再び低下に転じる

2007年10～12月期の全産業の利益動向D Iは▲18.6(前期▲14.8)となり、判断は再び悪化した。うち、製造業は一般機械器具で改善(▲27.3 0.0)したが、食品やパルプ・紙・紙加工品でD Iが低迷し、全体では▲14.7(同▲11.1)と低下傾向が続いている。一方、非製造業は、建設業では改善されたが、旅館・その他宿泊所、その他小売・サービス業はいずれも低下し、全体D Iは▲21.1(同▲17.0)と再び低下している。

2008年1～3月期(見通し)のD Iは、全産業で▲14.3と上昇が見込まれている。ただし、製造業は今期比横ばいを予測するのに対し、非製造業ではD Iの反転上昇が予測され、先行きへの期待感が示されている。

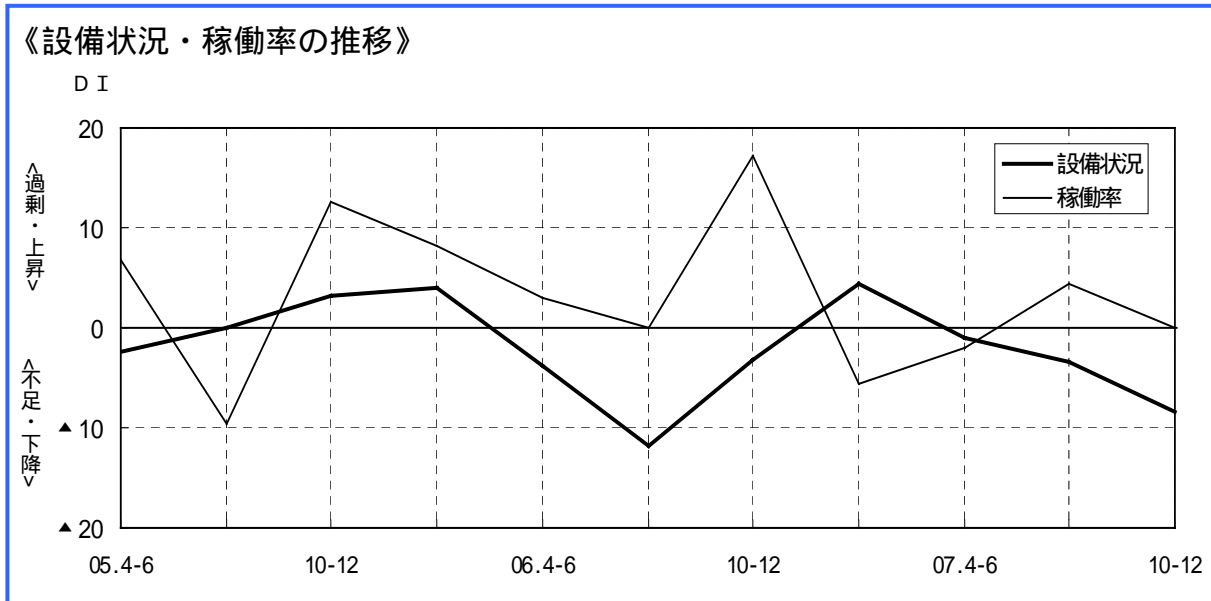


**設備状況・稼働率
(製造業)**

設備状況は「不足」感拡大、稼働率は低下しほぼ「常態」に

2007年10～12月期の設備状況DIは▲8.4(前期▲3.3)と、全体では「不足」の判断が拡大している。食料品でDIが上昇し「過剰」感が緩和されたが、金属製品、その他製造業ではDIが低下し「不足」感を強めた他、一般機械器具も「過剰」から「適正」に転じている。

一方、稼働率DIは0.0(同4.4)と低下し、ほぼ「常態」の判断となった。食料品、一般機械器具でDIが大幅に上昇した一方、パルプ・紙・紙加工品、金属製品、その他製造業ではDIが低下している。

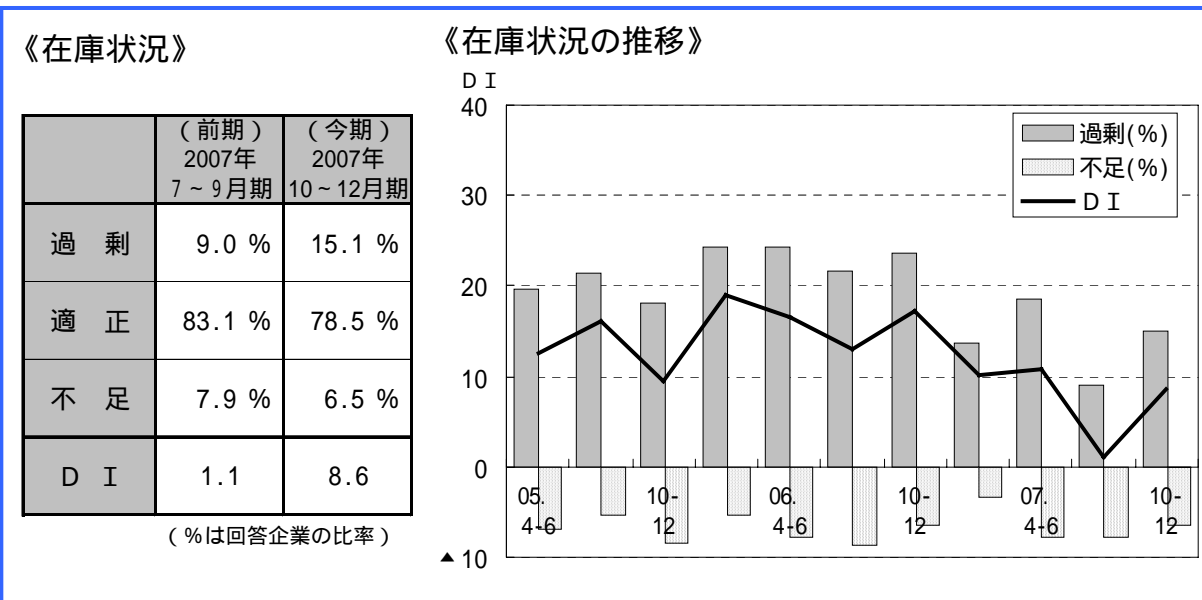


**在庫状況
(製造業)**

DIがやや低下、「適正」とする企業の比率が大幅に上昇

2007年10～12月期の在庫状況(製造業)DIは8.6(前期1.1)となり、前期低下したDIが再び上昇し、在庫は拡大に転じている。内訳をみると、「過剰」とする企業の割合が15.1%(同9.0%)と増加する一方、「適正」の回答比率は78.5%(同83.1%)と減少している。

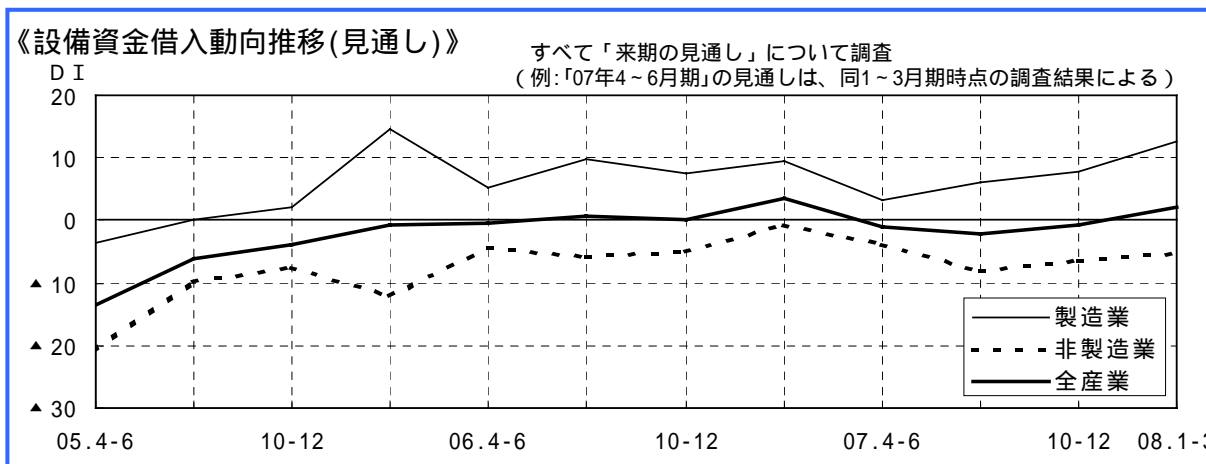
業種別では、食料品でDIが低下し「適正」から「不足」に転じたが、パルプ・紙・紙加工品、金属製品、その他製造業でいずれもDIが上昇し、「過剰」感が強まる傾向にある。また一般機械器具も、DIは前期比で変わらず、「過剰」状態が続いている。



設備資金借入
動向(来期)

製造業のD Iはさらに上昇、非製造業D Iも反転して上昇

2008年1～3月期(来期)の全産業の設備資金借入動向(見通し)D Iは2.2(前期▲0.9)とプラスに転じ、借入増加の基調に変化している。うち製造業は12.6(同7.8)と借入増加の姿勢がさらに強まった。また非製造業でも▲5.2(同▲6.4)と反転上昇し、借入抑制基調は緩和されている。



経営上の問題点

「原材料・仕入商品の値上がり」が最多に

「原材料・仕入商品の値上がり」の回答が「受注・売上の停滞・減少」を上回り、1位となった。製造業で全体の約8割、非製造業でも約3割の企業から指摘されている。また「その他経費の増加」が7位に上昇するなど、人件費を除く費用の上昇も問題となりつつあり、原材料価格の高騰が仕入商品価格やさまざまな経費の上昇に波及していることがうかがわれる。

《経営上の問題点(上位8項目)》

(社、%)

	07年4～6月期		07年7～9月期		07年10～12月期		順位 変動
	企業	割合	企業	割合	企業	割合	
1. 原材料・仕入商品の値上がり	115	47.7	107	45.1	118	49.8	
2. 受注・売上の停滞・減少	126	52.3	115	48.5	112	47.3	
3. 過当競争・製品安	96	39.8	88	37.1	92	38.8	
4. 人材の育成	83	34.4	99	41.8	86	36.3	
5. 従業員の高齢化	58	24.1	53	22.4	50	21.1	
6. 生産・販売能力の不足	48	19.9	36	15.2	44	18.6	
7. その他経費の増加	25	10.4	33	13.9	41	17.3	
8. 求人難	38	15.8	42	17.7	32	13.5	

《業種別：回答企業数およびD I》

設備資金は来期の見通し、それ以外は今期実績

業種	企業数	売上動向	利益動向	設備状況	稼働率	在庫状況	設備資金
食料品	14	▲7.1	▲28.6	▲21.4	0.0	▲7.1	0.0
パルプ・紙・紙加工品	15	0.0	▲40.0	6.7	0.0	13.3	▲6.7
金属製品	17	35.3	23.5	▲17.6	▲5.9	18.8	11.8
一般機械器具	11	0.0	0.0	0.0	18.2	10.0	36.4
その他製造業	38	5.3	▲21.1	▲7.9	▲2.6	7.9	18.4
製造業計	95	7.4	▲14.7	▲8.4	0.0	8.6	12.6
旅館・その他宿泊所	12	▲50.0	▲41.7	-	-	-	0.0
その他小売・サービス業等	87	7.0	▲19.5	-	-	-	0.0
卸・小売・サービス業計	99	0.0	▲22.2	-	-	-	0.0
建設業計	43	▲20.9	▲18.6	-	-	-	▲16.7
非製造業計	142	▲6.4	▲21.1	-	-	-	▲5.2

【訂正】 レポート(78) 「業況概要(自社)」において、製造業のD Iが「2005年7～9月期以来のマイナス」とあるのは、「2006年7～9月期以来のマイナス」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。